

## 事業所向け 放課後等デイサービス自己評価表

公表日： 2021年2月26日

事業所名 つばさ園

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	規定に沿ったスペースとなっておりますが、活動する内容によっては狭く感じる時もあります。活動を2班に分けたり、大人数でも楽しめる活動等、工夫しています。コロナ禍でソーシャルディスタンスを意識しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	一人一人、しっかりとその子に向き合えるような体制を心掛けています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	室内のバリアフリー化は適切になされています。玄関やトイレが使い方が難しい時がありますが、介助が必要な時は確実な人出を確保し、子ども達の負担にならないよう、安全面で十分注意していきます。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	モニタリングや引継ぎ時に保護者と話す機会を設けニーズを聞き、デイサービス修了後の振り返りやミーティングで職員と情報共有を行っています。その場にはいない職員には、日報やSNSで情報共有を行っています。目標設定はミーティングにて全員で話し合い確認をしています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	話し合っています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	法人のホームページで公開しています。

	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	今後体制づくりをしていきます。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	あかり全体の研修をやる予定でしたが、コロナウィルス感染症の影響で中止になってしまいましたが、言語聴覚、臨床心理の研修でした。つばさ園の中で虐待防止の研修を行いました。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	年に1回から2回、相談事業所によるモニタリングに参加をして、保護者のお話を伺っています。サービス等利用計画に沿って個別の支援計画を作成しています。毎回、作成会議を開催し職員全員でニーズの落とし込みをしています。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	最低限の物は、使用しています。プログラムには、写真や絵カードを使用しプログラムの進行を分かり易くしています。トイレ・待つ・座る等の簡単なマカトンサインを使用し、視覚支援を多く取り入れています。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	年間計画は決まっているが、月毎のミーティングで職員にも意見やアイデアを求め、細かいプログラムを決めています。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	固定化して積み上げていき、成長を促していく活動もありますが、その時の子ども達のニーズに合わせ、臨機応変にプログラムを工夫していきます。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	今年度はコロナ禍で活動が制限されましたが、こんな時ほど基本に戻り出来る事を一つでも増やし、一人一人将来の自立に繋げる支援を心掛けてきました。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	基本的には、全員で参加する課題遊びと、個別に取り組む個別課題があります。今年度は自立活動(排泄自立)と集団活動(自主的に仲間と一緒に取り組む活動)を取り入れてきました。それに沿って個別支援計画を作成しています。

⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	支援開始前に、前日までの日報に目を通し、必要な時は情報を伝えあい、情報共有に努めています。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	振り返りは必ず行っています。改善点は勿論ですが、その日にあった良い事も含め、職員全員と共有しています。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	支援終了後には必ず記録を取り、必要な時は、職員全員や保護者とも話し合い日々子ども達の為に支援を模索しています。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	相談事業所で行なうモニタリングに参加しています。内容を確認して計画の見直しを行っています。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	行っています。
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	児童発達支援管理責任者が参加しています。
㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	学校からは、年間の行事予定をもらっています。その日の学校の様子も丁寧に先生から引き継いでいます。
㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	今現在、医療的ケアが必要な方はいません。

関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	つばさ園では該当しませんが、つばさ園を新しくご利用されるお子様につきましては、おおとり園との情報共有を行い、必要な時は職員がおおとり園と一緒に支援をし、様子を見させて頂く場合もあります。
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	つばさ園では該当しませんが、つばさ園を卒業されるお子様につきましては、はばたき園と情報共有しています。
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	これから行っていきたいと思います。
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	コロナウィルス感染症が流行する前は、公園で地域の子ども達との交流がありましたが、今年度はコロナ禍で交流が出来ていません。コロナウィルス感染症流行がおさまったら、積極的に交流したいと思います。
	㉔	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	コロナ禍なので、人数を減らして参加しました。とても勉強になり、地域の事業所と意見交換が出来て励みになりました。
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	つばさ園では保護者のお迎えが基本となりますので、お迎え時に担当職員から、一日の様子をお伝えしています。その中から必要であれば職員全員と情報共有を行い、児童発達支援管理責任者が保護者と詳しく話し今後の支援計画を変更する場合があります。
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	保護者の申し出や必要な時は、児童発達支援管理責任者が保護者とお話をし、適切なアドバイスや支援方法を一緒に考えるという事を行っています。
	㉗	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	つばさ園契約時に説明をさせて頂いています。今年度はコロナウィルス感染症の対応で、お会いして説明するのは難しいのが現状です。その都度対応させて頂いています。

保護者への説明責任等

③①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	保護者には、お迎え時担当の職員からその日の様子を伝えていきます。その際、質問や悩み等を伝えて下さった時は、適切に対応し、必要な時は、児童発達支援管理責任者から専門家や相談事業所に繋ぐ役目もしています。
③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	残念ながら、今年度はコロナウイルス感染症の影響で保護者会等開催出来ていません。別の切り口で保護者同士の連携が図れるよう検討していきます。
③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	職員間で対策を話し合い、再発防止に努めていきます。また、対応策は迅速に直接ご本人や保護者に伝えていきます。
③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	園の行事予定や、活動の様子は毎月発行している、「つばさ便り」に掲載しています。なるべく分かり易く情報を整理しています。子ども達にも分かるように写真を掲載し、ご家庭での会話で活用して頂きたいと考えています。
③⑤	個人情報に十分注意しているか	個人情報の取り扱いについては、職員間でも徹底しています。情報を出す際迷った場合、一度確認してから情報提供しています。
③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	支援の中で写真カードや絵カードを使い、視覚支援を多く取り入れる等工夫しています。
③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	昨年度に引き続き、地域交流を検討していましたが、コロナ禍で実現出来ていません。お散歩等で外出した際は、子ども達と一緒に地域の方々に挨拶をしています。いつも温かい言葉を掛けて下さいます。子ども達はとても嬉しそうです。
③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	緊急時、防犯マニュアルは玄関脇の棚に置いて、必要な時は直ぐ取り出せるようになっています。感染症マニュアルは作成中で、完成したら直ちに掲示していきます。

非常時等の対応	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	年に2回以上避難訓練(火災、洪水)を実施しています。消火訓練は今年度はコロナ感染症の影響で、出来ていません。
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	虐待のチェックシートで、チェックしながら、虐待について振り返り、確認しています。
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	身体拘束は、パギー、車椅子により、付随している胸当てベルトや腰ベルト等で安全確保の為体を固定しています。その際は、日付け、時間を記録しています。
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	アレルギーの有無は年度初めの書類に明記して頂き、保護者の方に確認しています。職員間でも情報共有を行っています。
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	ヒヤリハットの報告書に記入して、園のミーティング時に振り返りや、再発防止策を話し合う仕組みは出来ています。今年度はまだ起きていません。